



# K・B通信

キッチン・バス工業会の活動をお知らせします



【高輪大木戸跡】■江戸中期、東海道(田町、品川間)に設けられた高輪大木戸。大木戸とは江戸の出入り口を指す。旅人の送迎場所であり、通行管理の役割もあった。当初は街道を挟んで両側にこのような石垣が築かれていた。江戸の玄関口だった大木戸は今、近くの「高輪ゲートウェイ駅」の名称の中に生きている。(港区高輪2-19)

## CONTENTS

記事名をクリックすると該当ページに飛びます。

### ■ 巻頭言

『K・B通信』No.27発行にあたり ..... 2

### ■ 工業会情報

2024年度 公式行事 ..... 2

キッチン・バス工業会 会長退任のご挨拶 ..... 3

キッチン・バス工業会 会長就任のご挨拶 ..... 4

2023年度 第2回 会長報告会 ..... 5

2024年度 第1回 理事会／懇親会 ..... 6

新任理事ご挨拶 ..... 7

新規会員ご紹介 ..... 8

代表者変更のお知らせ ..... 9

2024年度(第40回) 定時総会・第1回全員懇談会 開催 ..... 10

2024年度 第1回 懇親ゴルフ会開催 ..... 12

2024年度 工業会役員体制 ..... 13

2024年度 各委員会 正・副委員長名簿 ..... 14

### ■ 委員会活動

キッチン・洗面・バス産業廃棄物の適正処理について ..... 15

物流課題専門委員会の活動について ..... 16

CFP策定特別委員会を立ち上げ、環境問題への取り組みを開始 ..... 16

一般財団法人ベタリーピング つくば建築試験研究センター様を訪問 ..... 17

セイコーエプソン株式会社様／創業記念館・ものづくり歴史館 ..... 18

### ■ TOPICS

60周年記念事業がスタート! ..... 19

第20回「台所・お風呂の川柳」募集中ー最終回となりますー ..... 20

各委員会2024年度事業計画 ..... 21

### ■ 統計情報

2023年度自主出荷統計概況 ..... 23

### ■ 会員情報

浄水器ブランド「クリンスイ」誕生40周年 ..... 25

### ■ 団体会員情報

JGKAロゴマーク変更と新社屋完成について ..... 25

### ■ 行政情報

令和6年度も長期優良住宅化リフォームを支援します!、他 ..... 26

### ■ VOICE

秋野顧問弁護士から ..... 29

### ■ 事務局

工業会業務日誌 ..... 31

編集後記 ..... 32

## 巻頭言

### 『K・B通信』No.27発行にあたり

平素は、キッチン・バス工業会の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび令和6年元日に発生いたしました能登半島地震により被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、国内住宅市場に目を向けますと、新設住宅着工戸数の減少や、資材・原料の価格高騰が依然として続いており、円相場もバブル期以来の円安水準となるなど、経済に与える影響は深刻さを増しています。また国内の物流業界においては、2024年の法令改正によりドライバーの働き方改革が進められています。

このような住宅市場を取り巻く環境の変化のなか、行政施策では「子育てエコホーム支援事業」などの取り組みがなされ、より多くのリフォーム需要の喚起が期待されています。我々の業界においても、キッチン・バスをはじめ

めとする関連商品群の訴求に一層注力し、消費者の皆様へ「より良い暮らし」の実現に向けて貢献できればと存じます。また、物流課題においても、引き続き当工業会全体で「配送・納品の適正化」に関して取り組んでいく必要があると考えております。

業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況になることが予想されますが、会員の皆様と一丸となって、業界の更なる発展を目指して活動してまいりたいと存じます。当工業会ならびに会員各社の飛躍を祈念するとともに、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

キッチン・バス工業会 副会長  
永大産業株式会社  
代表取締役 執行役員社長  
枝園 統博



## 工業会情報

### 2024年度 公式行事

工業会行事日程	行事内容
2024年 4月18日(木)	2024年度 第1回 理事会(14:00~15:50) 懇親会(16:00~18:00)
2024年 5月23日(木)	2024年度 定時総会・第1回全員懇談会／懇親パーティ (15:00~16:30／16:45~18:15)
2024年 5月24日(金)	懇親ゴルフ会
2024年 9月19日(木)	2024年度第2回 全員懇談会／懇親パーティ(14:00~16:00／16:15~18:00)
2024年 9月20日(金)	懇親ゴルフ会
2024年 11月 1日(金)	「キッチン・バスの日」式典 第20回 川柳優秀作品表彰式(14:00~16:00)
2025年 1月15日(水)	2025年 新年賀詞交歓会(17:00~18:30) 運営諮問会議(15:30~16:30)

## キッチン・バス工業会 会長退任のご挨拶



前会長 西尾 匡史

(パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 代表取締役 副社長執行役員)

退任にあたりご挨拶申し上げます。

昨年の5月、世界に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、キッチン・バス工業会の活動もWebでの非対面からWebとリアル併用の併用、そしてリアルでの対面活動に舵を切り、コロナ前の状況に戻ってまいりました。

日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、資材価格の高騰と高止まり、急激な円安の進行等、取り巻く環境は大変厳しく不透明な状況にあります。

また、私たちの住宅設備業界においても、新設住宅着工の低迷とともに、物流の2024年問題、またカーボン・ニュートラルに向けた環境課題への取り組み等はまったなしの状況です。

キッチン・バス工業会として、物流の2024年問題については2021年度より物流課題特別委員会を立ち上げ、「物流課題解決のためのガイドライン」を2022年5月に制定し、現在各社がこのガイドラインに則って啓発活動を行っています。また、カーボン・ニュートラルに向けた環境課題については、2023年度に準備ワーキングを立ち上げ、2024年度から新たにCFP策定特別委員会を立ち上げます。経済産業省のご指導をいただきながら、キッチン、バス、洗面においてCFP(カーボン・フット・プリント)製品別算定ルールを統一化することで、数値の受け手の混乱防止や算出のための各社負担の軽減等、業界メリットにつなげてまいります。

このように、各社の垣根を越えて議論を深め、進めていくことがキッチン・バス工業会の強みです。引き続きご協力をお願いします。

さて話は変わりますが、当工業会は来年2025年に創立60周年を迎えます。永きにわたり続けてこられたのも諸先輩方、そしてこの会を支えていただいた多くの方々のおかげです。この60周年記念となる事業を、現在年間を通じて計画中です。各記念事業が盛り上がるように皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回、会長職の改選期を迎え、竹内様(クリナップ株式会社)にバトンタッチします。今までご支援いただきました副会長と理事の皆様、事務局、委員長ならびに各社の委員の皆様へ感謝と御礼を申し上げるとともに、当会の発展ならびに会員各社の皆様のご健勝を祈念し、会長退任のご挨拶とさせていただきます。

## キッチン・バス工業会 会長就任のご挨拶



新会長 竹内 宏  
(クリナップ株式会社 代表取締役 社長執行役員)

このたび西尾前会長から会長職を引き継ぎましたクリナップの竹内です。就任にあたりご挨拶を申し上げます。

世界的な新型コロナウイルス感染症に関連しての行動制限は緩和されましたが、国際情勢にいたっては混乱を深め、エネルギー価格や物価の上昇、為替の乱高下、資材の調達困難など、厳しい状況が続いております。その他にも国内においては、加速する高齢化社会、人口減少、新設住宅着工戸数の減少など、我々を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあると思います。

また、気候変動や生物多様性などの環境課題をはじめ、コロナ禍によってもたらされた生活様式の変容、DX(デジタルトランスフォーメーション)によるビジネス変革などによって、社会は大きな転換期を迎えています。SDGsをはじめ、環境負荷低減に向けて業界として、企業として、積極的な取り組みが必要とされています。

キッチン・バス工業会におきましても、『住環境を通じた豊かな国民生活の実現と安全な社会の醸成への貢献』という使命と役割を認識し、会員各社をはじめ関係省庁、関連団体の皆様と密に連携し、課題に取り組んでいきたいと思っております。

2025年3月8日に当工業会は創立60周年を迎えます。業界内外の皆様これまで支えていただいている感謝の意を表するとともに、これからの工業会発展の礎となる周年記念事業にも取り組んでいきますので、皆様のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、甚だ簡単ではございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

## 2023年度 第2回 会長報告会

2023年度第2回会長報告会が、2024年3月8日(金)、キッチン・バス工業会会議室で開催されました。会長報告会に先立ち、委員長会議を行い、16委員会の委員長が出席し、取り組んでいる活動を共有し合いました。

西尾会長は工業会会議室にて出席され、「工業会として会

員各社の道筋となるような活動を期待する」という主旨の挨拶のもと、工業会会議室とオンラインで参加した各委員長より、2023年度事業報告と2024年度事業計画(案)を報告しました。いくつかの質疑が行われ、2024年度に取り組むべき活動を再認識することができました。

### ■会長報告会議事次第

1. 西尾会長挨拶
2. 各委員会進捗報告
  - (1) 60周年記念事業実行委員会(柴崎委員長)
  - (2) 総務委員会・営業企画専門委員会(若尾委員長)
  - (3) 広報専門委員会(野村委員長)
  - (4) 室内空気環境専門委員会(大池委員長)
  - (5) 材工課題専門委員会(吉田委員長)
  - (6) キッチン・洗面技術専門委員会(西岡田委員長)
  - (7) 浴室技術専門委員会(池口委員長)
  - (8) 調査統計委員会(垣田委員長)
  - (9) PL関連委員会(松本委員長)
  - (10) 情報化推進委員会(中溝委員長)
  - (11) 消費者関連委員会(新井委員長)
  - (12) 中企税関連特別委員会(行森委員長)
  - (13) こどもエコすまい・行政支援事業特別委員会(小林委員長)
  - (14) 物流課題特別委員会(野村委員長)
  - (15) CFP策定特別委員会(野村委員長)
  - (16) ジェット噴流バス啓発委員会(中村副委員長)
3. 事務局報告
  - ・2024年度 公式行事、委員会開催日程、他



会長報告会の様子

## 2024年度 第1回 理事会

2024年度の第1回理事会が、2024年4月18日(木)、明治記念館「未広」で開催されました。役員体制審議において、竹内副会長(クリナップ)が新会長に選出され、続いて役員体制

が承認された後、新任役員が紹介されました。

議事はスムーズに進行され、全ての審議事項が承認されました。

### ■第1回理事会 概要

#### 1. 審議事項

- (1) 2024年度役員体制(案)
- (2) 2023年度事業報告及び2024年度事業計画(案)
- (3) 60周年記念事業計画(案)
- (4) 表彰規程(案)
- (5) 2023年度事業収支決算報告及び2024年度収支予算(案)

#### 2. 報告事項

- (1) 会員移動について(入会、退会、社名変更、代表者変更)
- (2) 事務局体制について

#### 3. 事務局報告

- ・2024年度第20回川柳事業について
- ・今後の行事日程(公式行事・委員会開催日程、他)



議長 西尾会長



理事会の様子



委員長席：事業報告・事業計画の説明

## 懇親会

理事会閉会后、「鶴亀」に席を移し、会長・副会長・理事・監事17名と事務局側3名が出席し、理事同士の親交を深める機会として盛況に行われました。



乾杯のご挨拶  
小森新副会長(タカラスタンダード(株) 代表取締役社長)



歓談の様子

## 新任理事ご挨拶 ※社名・団体名五十音順

水まわりって、大切だから

### Takara standard

タカラスタンダード株式会社  
代表取締役社長  
**小森 大**  
(こもり まさる)



この度、キッチン・バス工業会の副会長に就任いたしましたタカラスタンダード株式会社の小森です。平素は、会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当工業会は2025年に60周年を迎えます。これまで業界発展のため諸先輩方がつくってこられた歴史をしっかりと受け継ぎ、住宅設備機器業界の健全なる発展と住生活の向上に努めてまいります。

特に2024年問題といわれる物流問題、法令を遵守した建設廃棄物適正処理のための啓発活動、そして2050年に政府が掲げるカーボン・ニュートラル実現に向けて、会員の皆様と共に取り組んでまいり所存です。今後とも変わらぬご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

### TOTO

TOTO株式会社  
取締役 常務執行役員  
**武富 洋次郎**  
(たけとみ ようじろう)



この度、キッチン・バス工業会の副会長に就任いたしましたTOTO株式会社の武富でございます。平素は、会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は豊かで快適な生活文化を創造し、お客様の期待以上の満足を追求し、事業活動を推進しております。キッチン・バス空間においても、製品を通じてお客様に新たな価値を提供し、キッチン・バス業界に貢献していきたいと考えております。

海外での紛争、円安、原材料の高騰等不透明な状況ではありますが、キッチン・バス工業会のますますの発展に微力ながら尽力してまいり所存ですので、今後ともご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順



フリッツ・エガー株式会社

カントリーセールスマネージャー **鈴木 淳**  
(すずき じゅん)



本社所在地：Weiberndorf 20, 6380 St. Johann in Tirol, オーストリア  
(本社の名称:FRITZ EGGER GmbH & Co. OG)  
日本事務所・ショールームの所在地：  
104-0061 東京都中央区銀座1-9-5 池田ビル2F  
主な取扱品目：キャビネット・扉用の低圧メラミン化粧ボード、メ  
ラミン化粧板、木口材、OSBボード、家具部材など  
ホームページ：<https://japan.egger.group/>

FRITZ EGGER(フリッツ・エガー)は、1961年創業の欧州オーストリアの木質ボードメーカーです。長らくEGGER(エガー)の資材をご採用いただいているお客様のおかげもあり、日本市場向けには30年以上にわたり、キッチン・洗面化粧台向けのキャビネット部材(低圧メラミン化粧ボード)を中心に輸出をさせていただいております。



普段は表に出ない部材で採用されることが多いEGGERの資材を通じて、微力ながら工業会の発展と社会貢献に取り組んでまいりたいと思います。



また、ヨーロッパを中心としたインテリアのトレンドやサステナビリティに関する情報交換を工業会の皆様と行っていきたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 株式会社 **リラインス**

株式会社リラインス

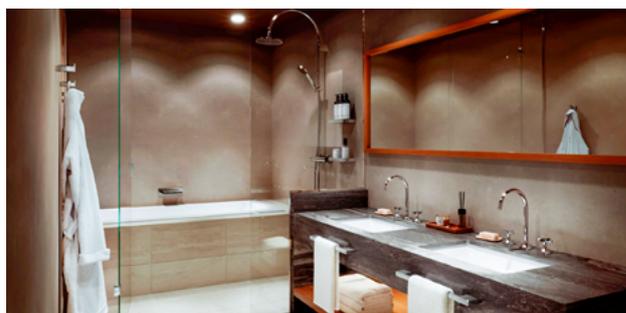
営業本部 取締役営業本部長 **大島 宇歩**  
(おおしま たかほ)



本社所在地：東京都新宿区西新宿6丁目6番3号 新宿国際ビル新館9階  
主な取扱品目：バスルームアクセサリを始めとした水まわり製品の企画・製造・販売・輸出、海外水まわりブランド製品の輸入販売  
ホームページ：<https://www.le-bain.com>

この度、キッチン・バス工業会へ参加させていただくことになりました株式会社リラインスと申します。住設メーカー様、キッチンメーカー様、ハウスメーカー様には日頃より浴室・外のバスルームアクセサリ及び水栓金具等を長年ご愛顧いただいております。大変お世話になっております。

当社は日本初のバスルームアクセサリメーカーとして1954年に創立以来、手すり、バスルームアクセサリ、洗面



ボウルなど、水まわり空間を演出する品々の企画・製造・販売を手掛けています。さまざまな水まわりシーンを知るリラインスは、デザイ



ン性、機能性だけではなく、心と体の健康を考え、感性を刺激する新しいバス空間とライフスタイルを提案しています。

当工業会におかれましても、弊社の知見・経験等において微力ながらご協力できればと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順



グローエジャパン株式会社

代表取締役社長

**山本 温**

(やまもと あつし)



この度、グローエジャパン株式会社の代表取締役社長に就任いたしました山本温でございます。

平素は会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

グローエは、およそ150か国での販売実績がある水まわりの設備を提供するグローバルブランドで、とりわけ欧州市場でNo.1の地位を確立した水まわり製品のリーディングカンパニーでもあります。ブランド価値であるQUALITY、TECHNOLOGY、DESIGN、SUSTAINABILITYを通し、日本市場でもお客様に素晴らしい経験をお届けできるよう努力していく所存でございます。

キッチン・バス工業会会員の皆様と一緒に、工業会の発展に向け取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく御願申し上げます。



西部ガス株式会社

取締役常務執行役員

**上野 俊幸**

(うえの としゆき)



この度、キッチン・バス工業会の弊社代表に就任いたしました上野でございます。

平素は、会員各社の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御

礼申し上げます。

弊社は、エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして、「都市ガス・電気・LPG」のエネルギー供給に加え、くらし関連などのサービスも併せてお届けすることで、お客様価値を拡大させるとともに、快適なくらしや社会の実現に貢献してまいります。

今後とも、キッチン・バス工業会の発展に寄与できるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく御願申し上げます。



株式会社ハーマン

代表取締役社長

**蒔田 潤也**

(まきた じゅんや)



この度、株式会社ハーマンの代表取締役に就任いたしました蒔田潤也でございます。平素より会員各社の皆様には格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、人と技術の調和する「生活環境の創造」で「暮らしに新たな喜びと感動」を提供する企業理念として、魅力的で特徴のある商品開発に取り組んでまいりました。

今後とも、社会に「なくてはならない」を届け続けるために、「なくてはならない」を新しくつくるために、挑戦し続け、安全・安心と環境に配慮した商品を提供し社会に貢献いたします。

会員の皆様と共に工業会の発展に貢献できるよう精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく御願申し上げます。



三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

取締役 経営企画本部長 兼 営業本部長

**前原 綾**

(まえばら あや)



平素より会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、「コップ一杯の水をきれいに」を合言葉に、飲・食・住といったあらゆる領域に対して、独自の「中空糸膜フィル

ター」を中核とした技術とサービスを提供しています。

弊社は今年ブランド誕生40周年を迎えました。家庭用だけにとどまらず、水を届けるというあらゆるサービスを通じて、人や社会、地球のサステナビリティ向上に貢献するべく、日々歩み続けてまいります。

特に“水の安心”を実現するための技術や製品の開発に今後も情熱を注いでいきたいと考えております。

今後とも会員の皆様と共に、工業会の発展に向け微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく御願申し上げます。

## 2024年度(第40回)定時総会・第1回全員懇談会 開催

2024年度総会・第1回全員懇談会は、5月23日(木)コートヤード・マリオット銀座東武ホテル(2階 さくらの間)で、5年ぶりにリアル出席のみによる開催となりました。

冒頭、清水常務理事によるキッチン・バス工業会の競争法コンプライアンス指針の宣言後、会則により総会議長である西尾会長の進行により、会議がスタートしました。

2024年度は会長の改選期にあたり、クリナップ株式会社 竹内 宏様へ交代となり、また、全ての審議事項が承認されました。

〈会員総数90社(理事・正会員25社 賛助会員65社) 2024.5.23時点〉

### ■定時総会 概要

#### 1.審議事項

- 1号議案：2023年度事業報告及び2024年度事業計画案
- 2号議案：2023年度事業収支決算報告及び2024年度収支予算案
- 3号議案：2024年度 役員体制案

#### 2.報告事項

- ①会員移動について
- ②創立60周年記念事業について
- ③2023年度「情報化実態調査アンケート」結果について
- ④2023年度自主出荷統計について

#### 3.事務局報告

- ・今年度第20回で終了する「台所・お風呂の川柳」を大きく育てていただいた謝意、今回の募集リリース配信、これまで以上の応募依頼
- ・2024年～2025年度公式行事案
- ・2024年度各委員会 正・副委員長名簿



総会会場(さくらの間)入り口サイン



総会受付の様子



西尾議長(会長)



竹内新会長



委員からの報告



総会の様子



総会の様子

■懇親パーティ

定時総会・第1回全員懇談会閉会后、3階 龍田の間に移動して懇親パーティを開催し、218名が出席され、会員相互の交流を深めました。

○挨拶

キッチン・バス工業会 新会長 竹内 宏

流し台の歴史を振り返ると、昭和31(1956)年に晴海にできた団地に初めて流し台が設置されました。納入した企業は今のLIXILさん、当時はサンウエーブさんです。大変苦労されたと、当社創業者・故井上登はいつも言っていたことを記憶しております。「この業界のパイオニアはサンウエーブさんだ。サンウエーブさんがなければ我々はキッチンを販売できなかった。」創業者からそういう歴史を聞き、深く感銘を受けました。

現在、当工業会には環境対応など、さまざまな課題がありますが、我々がやるべきことはもっともっと良い商品をつくり、それにあった対価をいただくことです。そのためにも、キッチン・バス工業会の認知度をもっとあげることが必要です。

創立60周年を迎える2025年に、川柳事業から「くらしの絵(仮称)」として、小学生以下の子どもさんから、作品を応募していただく事業に替わります。子どもさんから親御さん、おじいさん、おばあさんに伝われば、キッチン、バス、洗面化粧台がより親しみのある商品となり、さらに価値のある商品になります。そういう思いで会長をやらせていただきます。

○ご来賓祝辞

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長 潮崎 雄治 様  
国土交通省 住宅局 住宅生産課長 山下 英和 様

○乾杯

日本ガス体エネルギー普及促進協議会 会長(東京ガス株式会社 代表取締役副社長) 小川 慎介 様

○中締め

丸玉木材株式会社 取締役 工場長 似内 向 様



来賓ご挨拶  
経済産業省住宅産業室 室長  
潮崎 様



来賓ご挨拶  
国土交通省住宅生産課 課長  
山下 様



ご挨拶と乾杯のご発声  
日本ガス体エネルギー普及促進協議会 会長  
小川 様  
(東京ガス株式会社 代表取締役副社長)



中締め  
丸玉木材株式会社 取締役  
似内 様



懇親パーティの様子

## 2024年度 第1回 懇親ゴルフ会開催

定時総会の翌日5月24日(金)、神奈川県相模原市の相模原ゴルフクラブにて懇親ゴルフ会を開催しました。4名の新規参加者を含め総勢24名のゴルファーの皆様、初夏を思わせる好天のもと、美しいコースでゴルフを満喫していただきました。またプレー後のパーティでは、ゴルフ会 西田会長による成績発表および会員の皆様からご提供いただいた豪華賞品の贈呈式で大いに盛り上がりました。

なお、第2回懇親ゴルフ会は9月20日(金)、京都・城陽カントリー倶楽部での開催を予定しています。より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。また、賞品をご提供いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



## 2024年度 工業会役員体制

会員各社の代表及び幹部の皆様で構成されており、業界一丸となり活動しています。

2024年5月23日現在(敬称略)

会 長	クリナップ(株)	代表取締役 社長執行役員	竹内 宏
副会長	タカラスタンドード(株)	代表取締役 社長	小森 大(新任)
副会長	(株)LIXIL	執行役専務 LIXIL Water Technology(LWT) Japan担当	大西 博之
副会長	永大産業(株)	代表取締役 執行役員社長	枝園 統博
副会長	TOTO(株)	取締役 常務執行役員	武富 洋次郎(新任)
副会長	トクラス(株)	代表取締役 社長	小泉 和弘
副会長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	代表取締役 副社長執行役員 水廻りシステム事業部長	西尾 匡史
理 事	積水ホームテクノ(株)	代表取締役 社長	田中 伸弘
理 事	(株)長府製作所	代表取締役 社長	種田 清隆
理 事	東京ガス(株)	総合設備事業部長 兼 東京ガスリビングアドバンス(株) 代表取締役社長	吉村 恒
理 事	ナスラック(株)	ナスラック鎌倉工場 工場長	高嶋 真義
理 事	(株)ノーリツ	取締役 兼 専務執行役員	廣澤 正峰
理 事	(株)ハウステック	専務取締役 事業本部長	平川 昌也
理 事	富士工業(株)	代表取締役 社長	柏村 浩介
理 事	(株)ベルキッチン	代表取締役 社長	松本 真明
理 事	リンナイ(株)	代表取締役 社長	内藤 弘康
監 事	(株)トヨウラ	代表取締役 社長	坂井 良行
監 事	(株)和光製作所	代表取締役 社長	西田 隆一
常務理事	工業会事務局	工業会常任 事務局長	清水 洋一

## 2024年度 各委員会 正・副委員長名簿

2024年6月26日現在(敬称略)

委員会	委員長	副委員長	氏名	
総務委員会	委員長	クリナップ(株)	柴崎 和彦	
	副委員長	永大産業(株)	土井 隆義	
	副委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	潮田 栄二	
	副委員長	タカラスタンダード(株)	鈴木 孝弘	
	副委員長	TOTO(株)	佐藤 徳彦	
	副委員長	トクラス(株)	佐藤 哲	
	副委員長	(株)ハウステック	角屋 正樹	
	副委員長	(株)LIXIL	野村 泰之	
	副委員長	リンナイ(株)	木住野 健	
	副委員長	トクラス(株)	佐藤 哲	
広報専門委員会	副委員長	(株)LIXIL	野村 泰之	
	副委員長	(株)渡辺製作所	石井 博之	
	委員長	(株)ベルキッチン	新井 貴子	
室内空気環境専門委員会	副委員長	(株)LIXIL	大島 一洋	
	副委員長	TOTO(株)	大池 研吾	
	委員長(浴室)	TOTO(株)	吉川 潤	
仮設住宅対策専門委員会	副委員長(キッチン・洗面)	タカラスタンダード(株)	鈴木 孝弘	
	委員長	OB(ハウステック)	中山 世一	
川柳事業専門委員会	副委員長	タカラスタンダード(株)	中島 宏文	
	委員長	(株)LIXIL	日原 勲	
材工課題専門委員会	副委員長	TOTO(株)	金井 史生	
	副委員長	クリナップ(株)	城川 雅晶	
	委員長	TOTO(株)	猪狩 純	
営業企画専門委員会	副委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	馬路 貴光	
	委員長	(株)LIXIL	野村 泰之	
物流課題専門委員会	委員長	クリナップ(株)	柴崎 和彦	
60周年記念事業委員会	委員長	クリナップ(株)	小林 桂	
技術委員会	副委員長	(株)ハウステック	阿部 哲弥	
	キッチン・洗面技術専門委員会	委員長	(株)ハウステック	阿部 哲弥
		副委員長	永大産業(株)	嶋田 裕之
	浴室技術専門委員会	委員長	クリナップ(株)	小林 桂
		副委員長	積水ホームテクノ(株)	坂本 直樹
		副委員長	(株)LIXIL	池口 誠
		副委員長	日ポリ化工(株)	須田 義一
	規格基準検討専門委員会	キッチン・洗面委員長	(株)LIXIL	石川 祐佐
		浴室委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	馬越 朝康
	調査統計委員会	委員長	(株)LIXIL	垣田 賢
副委員長		(株)ハウステック	角屋 正樹	
副委員長		ナスラック(株)	神谷 剛志	
副委員長		積水ホームテクノ(株)	御江 陽治	
委員長		トクラス(株)	佐藤 哲	
キッチン統計専門委員会	委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	津田 峻佑	
洗面統計専門委員会	委員長	TOTO(株)	和田 法子	
浴室統計専門委員会	委員長	トクラス(株)	園川 泰浩	
PL関連委員会	副委員長	TOTO(株)	高橋 真	
	副委員長	(株)LIXIL	長瀬 貴志	
	副委員長	(株)ハウステック	荒木 秀敏	
	副委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	松本 啓一	
	委員長	タカラスタンダード(株)	本木 聡	
情報化推進委員会	副委員長	クリナップ(株)	小野 貴久	
	副委員長	TOTO(株)	中溝 博之	
	委員長	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	松本 啓一	
消費者関連委員会	副委員長	クリナップ(株)	辻野 高行	
	副委員長	(株)LIXIL	山本 慎二郎	
	副委員長	富士工業(株)	端山 康之	
	委員長	トクラス(株)	行森 直志	
中企税関連特別委員会	委員長	TOTO(株)	佐藤 徳彦	
行政支援事業特別委員会	委員長	(株)LIXIL	野村 泰之	
CFP策定特別委員会	委員長	TOTO(株)	中村 覚	
ジェット噴流バス啓発委員会	委員長	TOTO(株)	駒谷 直樹	
電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会	委員長	TOTO(株)		

# 委員会活動

## キッチン・洗面・バス産業廃棄物の適正処理について

材工課題専門委員会 2023年度委員長 吉田 博明(パナソニック ハウジングソリューションズ)

材工課題専門委員会の2023年度活動の締めくくりとして、3月に産業廃棄物適正処理の啓発活動の一環である以下の案内文を工業会会長名で発信いたしました。

2022年3月にも同様の発信をしておりますが、会員各社から再度の発信のご要望を受けた発行です。ぜひ2022年に作成した啓発チラシと今回の案内文をセットでご活用いただきたく、よろしくお願いいたします。

### 【案内文のリンク先】

[https://www.kitchen-bath.jp/wp-content/uploads/2024/03/e57e0bf59d4214262535310919b5f\\_bda.pdf](https://www.kitchen-bath.jp/wp-content/uploads/2024/03/e57e0bf59d4214262535310919b5f_bda.pdf)

### 【チラシのリンク先】

<https://www.kitchen-bath.jp/wp-content/uploads/2024/03/5683f686954e8bd95ac993ef013f1ccb.pdf>

### 案内文

元請業者、流通店、会員企業 各位

2024年3月吉日  
キッチン・バス工業会  
会長 西尾 匡史

### 「キッチン・洗面・バスの『取付・設置』から出る産業廃棄物の処理について」 チラシ発行の再度のご連絡と周知のお願い

謹啓 関係各位におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より、キッチン・バス工業会の活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、キッチン・バス工業会ではシステムキッチン・洗面化粧台・システムバス等の建設廃棄物の適切な処理のため、キッチン・バス工業会のガイドライン（行動指針）を策定し、広く周知を図ってまいりました。

### HP掲載：

- ・キッチン・洗面化粧台・システムバス取付・設置に関連する建設廃棄物の適正処理ガイドライン（第2版）
- ・キッチン・洗面・バスの「取付・設置」から出る産業廃棄物の処理について（チラシ）

しかしながら、まだ、十分に周知・徹底には至っていない状況であり、改めて、当工業会として、今後も関係業界団体及び、関係取引様等へ、周知・徹底をお願いするために、本書面を発信させていただきました。本チラシについて、ご理解いただき、ご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

謹白

### チラシ表

**キッチン・洗面・バスの「取付・設置」から出る産業廃棄物の処理について**

新築やリフォーム等の建設工事に伴い生じる廃棄物の処理責任は元請業者様です！

キッチン・洗面・バスの取付・設置で発生した産業廃棄物は元請が責任を持って処理しないといけません。(2011年4月1日の廃棄物処理法改正)

建設工事に伴い生じる産業廃棄物は「元請」に処理責任があります。「元請」は自ら運搬するか「収集運搬業者」および「処分業者」と個別に直接契約し、廃棄物の処理を委託します。協力業者（下請）に運搬や処分をまかせることはできません。

■元請：発注者（お客様）と直接請負契約を取り交わし、最初にお金を受け取る業者のこと。  
 ■処理：運搬～処分の最終確認まで責任をもって行うこと。  
 ■産業廃棄物：キッチン・洗面・バスの取付・設置の際に出る廃棄物も含む。

お客様、元請、収集運搬業者、協力業者（下請）、廃棄物処理業者

下請けが産業廃棄物を処理することはダメ！

下請けが産業廃棄物の処理は、お金がかかるのよ！

処理責任は私

下請に処理させた場合は厳罰を受けることがあります！

●元請「委託基準違反」など / ●下請「無許可営業」など

処罰は元請、下請の双方に対して5年以下の懲役または1千万円以下の罰金もしくはその両方を科する

### チラシ裏

**キッチン・洗面・バスの取付・設置で出る産業廃棄物は…？**

段ボール、発泡スチロール、ビニール、端材

・保護ビニール、PPバンド 等々  
 ・キッチンボード端材、開口・加工等で発生する端材、排水加工で発生する端材 等々

**建設廃棄物処理の違法事例**

① 下請業者が直接排出事業者となる

建設現場 → 下請業者 → 下請業者の廃棄物として排出 → 収集運搬業者へ委託

5年以下の懲役または1千万円以下の罰金もしくはその両方を科する

元請の委託基準違反  
下請の無許可営業

② 下請業者が元請の産業現場へ運搬

建設現場 → 下請業者 → 下請業者が運搬 → 元請業者の産業現場

元請の委託基準違反  
下請の無許可営業

**こんな場合はどうなるの？**

Q キッチン・洗面・バスから出る産業廃棄物をメーカーや協力業者に持ち帰らせてもよいの？

A いけません。

キッチン・洗面・バスの取付・設置から出る産業廃棄物はメーカーや協力業者での回収や処理はできません。産業廃棄物の処理責任は、排出事業者（元請）にあります。元請が回収、処理をしなければいけません。

Q 産業廃棄物の収集運搬を近所の運送業者に頼んでもよいの？

A いけません。

産業廃棄物の運搬は許可を持った廃棄物収集運搬業者と契約し、運搬を委託しなければいけません。排出事業者（元請）が自ら運ぶことは可能です。（この場合は許可は不要）

Q 委託業者が違法行為をしたら、元請業者にも責任はあるの？

A あります。

産業廃棄物処理を委託した業者が不適正な処理や、不法投棄をした場合には、その業者が許可を持っていても、排出事業者である元請は、処罰を受ける場合があります。（懲役や罰金など）

**産業廃棄物処理についての情報提供のご案内**

産業廃棄物処理についての関連ホームページをご覧ください。

●環境省（建設工事等から生ずる廃棄物の適正処理について）  
<https://www.env.go.jp/hourei/11/000101.html>

●国土交通省（建設リサイクル推進建築関係法令）  
[http://www.mit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/index\\_03031aw.htm](http://www.mit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/index_03031aw.htm)

【別冊1】  
一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会 発行  
「リフォーム工事の産業廃棄物：正しい処理方法」より引用

【別冊2】  
キッチン・バス工業会 東京都港区芝大門1-4-9 大門ビル3F  
TEL:03-3436-6453 <https://www.kitchen-bath.jp/>

## 物流課題専門委員会の活動について

物流課題専門委員会 委員長 野村 泰之(LIXIL)

住宅設備業界における物流課題としては、商品が大きく部品点数が多いことや、関与者(流通・代理店様やコントラクター様等)が多いことなどが挙げられます。

このような個社だけでは解決できない物流課題を業界全体で解決していくスキームを構築すべく、キッチン・バス工業会では、2021年4月に特別委員会を設置して活動してきました。

今年度からは物流課題専門委員会として改めて方針や活動等の取りまとめをしていきます。配送先での荷卸しや仕分け作業をドライバーが無償で行っているなど、この業界におけ

る「商慣習」の見直しや、運行と荷役作業の分離と有償化、作業の明細化などについて議論の継続、課題解決に向けた取り組みをしていきます。

また、業界全体での意識改革を進めるために、キッチン・バス工業会のガイドラインを示した啓発チラシを作成してホームページへ公開し、業界全体での啓発活動を行っています。

【啓発チラシ】

<https://www.kitchen-bath.jp/wp-content/uploads/2022/11/3cad7e7a48b893c26dceb5c6667cb32b.pdf>

## CFP策定特別委員会を立ち上げ、環境課題への取り組みを開始

CFP策定特別委員会 委員長 野村 泰之(LIXIL)

昨年より、浴室技術専門委員会でカーボン・フット・プリント(以降、CFP)策定準備ワーキングを立ち上げて、カーボン・ニュートラルに向けた環境課題への取り組みを開始しました。

CFPとは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みで、LCA(ライフ・サイクル・アセスメント)手法を活用し、環境負荷を定量的に算定するものです。

これまでの経緯として、2022年9月に経済産業省CFP検討会<sup>※</sup>がスタートし、その検討会の中でカーボン・ニュートラルを実現するためには、個々の企業の取り組みのみならず、サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出削減を進めていくことが重要とされています。また、排出削減を推進するためには、脱炭素・低炭素製品(グリーン製品)が選択されるような市場を創り出していく必要があり、その基盤として製品単位

の排出量(カーボン・フット・プリント)が見える化する仕組みが不可欠である、との認識が示されました。

また、2023年3月にはその内容をまとめた取り組み指針としてCFPレポート、ガイドラインが提言され、その中で製品別算定ルールは、業界団体、企業コンソーシアム等、競合企業、利害関係者等が集う集団が作成することができ、製品別算定ルールを作成する際には、可能な限り幅広い同業他社に協議を呼び掛け、製品別算定ルール策定作業を行う、という実施方法案が示されました。

キッチン・バス工業会はこの提言を受け、昨年のワーキング活動を経て、2024年4月にCFP策定特別委員会を立ち上げました。ここでは浴室商品だけでなく、キッチン、洗面化粧台も含めた活動を推進し、個社ではなくキッチン・バス工業会としてCFP製品別算定ルールを統一化することで、数値の受け手の混乱防止や各社負担の軽減など、業界のメリットにつなげていき、2025年3月までに算定ルールを決定する予定です。

<sup>※</sup>サプライチェーン全体でのカーボン・ニュートラルに向けたカーボン・フット・プリントの算定・検証等に関する検討会

## 一般財団法人ベターリビング つくば建築試験研究センター様を訪問

PL関連委員会 委員長 園川 泰浩(トクラス)

PL関連委員会は、2024年1月19日(金)～20日(土)の2日間、茨城県つくば市にて移動委員会を実施しました。

### ■ ベターリビングつくば建築試験研究センター

約20,000㎡の敷地に本館を含む9棟に分かれた試験棟の全設備を見学させていただきました。

#### ◇ 防耐火試験施設(第一防火棟、第二防火棟)

外壁、間仕切壁、玄関ドア等の耐火性能試験をする鉛直炉(大・小)、水平炉、2基を見学しました。加熱温度を自動制御し約1100℃まで加熱ができるとの説明がありました。水平炉で試験後の湾曲した鉄骨の柱が保管してあり、火災熱のすごさを感じることができました。

#### ◇ 音響試験施設、床衝撃音試験施設

音響試験施設では、外壁、間仕切壁、サッシ等の遮音性能、吸音率測定などの試験を行っているとの説明がありました。床衝撃音試験施設では、コンクリートスラブ建築で階上での床衝撃音が床材の吸音材有無により階下でどのように違うかを体感することができ、吸音材の有効性が分かりました。

#### ◇ 加撃体発射試験機(エアキャノン試験機)

台風や強風による飛来物による建築物被害拡大や人災につながることを防ぐため、JIS-R3109で建築用ガラス飛来物試験方法が定義されており、実際に合わせガラスに2x4材を発射する試験を実施していただきました。衝突時の音は想像を絶するもので、見学しないと感じられない体験でした。

### ■ JAXA筑波宇宙センター

偶然にも、世界で5カ国目の無人探査機月面着陸に成功した翌日の祝福ムードの中、宇宙センターを見学しました。

正面入口前にはH2ロケット実機(全長50m、直径4m)が展示されており、まず、その大きさに驚かされました。展示館には、実物大の人工衛星が多数展示されており、間近に見ることができました。

宇宙は日陰でマイナス100℃以下、日なたで100℃以上という過酷な環境から人工衛星を守るため、周囲は箔状の断熱材で覆われています。断熱材の貼付けには、意外にもマジックテープが使われていましたが、宇宙空間は空気抵抗がないので問題ないとのことでした。

極限の環境においては、至る所で合理性が迫られていることを感じました。現在、全長約63mのH3ロケットを開発中ですが、日本製ロケット開発は、1955年の全長23cmの小さなペンシルロケットから始まったそうです。

日本の宇宙開発の歴史と未来の展示を興味深く見学させていただきました。



防耐火試験施設見学風景



つくば建築試験研究センターにて

## セイコーエプソン株式会社様／創業記念館・ものづくり歴史館

総務委員会 大崎 和美(東京ガス)

1月26日～27日、総務委員会、調査統計委員会、営業企画専門委員会の3委員会合同の移動委員会として、セイコーエプソン株式会社様の創業記念館、ものづくり歴史館を見学させていただきました。創業記念館は、創業80周年を機に、「エプソンミュージアム諏訪」を開設、1945年10月竣工した当時の社屋である歴史的建造物を「創業記念館」として改修し、2022年5月18日から一般公開しています。

創業者の山崎久夫氏は、製糸産業が衰退した諏訪地域に時計産業を育てようと、当時、時計産業の先進国であったスイスを目指し、諏訪地域を東洋のスイスにしようと、地元の仲間たちと立ち上がり工場誘致活動を行いました。諏訪地域は、標高も高く、気温・湿度が低く、湖があり、スイスと環境が似ていることをアピールして誘致を行い、1942年、有限会社大和工業として創立しました。戦後間もない1946年1月、初の腕時計となる婦人用5型時計を完成させました。戦後物資がない中、諏訪の地で用意可能な部品でできる時計がこの時計でした。その後も数々の歴史的ウォッチの創出に貢献し、会社の基礎を作り上げ、創業以来ものづくり企業として、多彩な分野に展開したことが躍進につながりました。

創業記念館では、創業当時の生産風景、機械式時計のその技術・技能の進化、クォーツウォッチを開発に至るお話を聞きながら見学しました。大きいものを小さくする技術をお持ちなため、1959年、放送局用水晶時計はロッカーほどの大きさでしたが、それをたった4年で持ち運びできるサイズに小型化(20cm×16cm)し、1969年には腕時計サイズ(直径3cm)まですることができました。



放送局用水晶時計(左)が4年後20cmの持ち運び可能サイズに進化!(真ん中の左)



創業記念館外観

ものづくり歴史館では、エプソンブランド制定後からの製品・技術の変遷、エプソングループパーパスである「省・小・精」から生み出す価値で人と地球を豊かに彩っていきたい、との思いが込められた展示となっていました。エプソン=インクジェットプリンターというイメージが強いと思いますが、小さ

くする技術が得意なことから、世界初の液晶ポケットカラーテレビ、ギネスブックにも掲載された超小型自立走行ロボットなど紹介しきれないほどのたくさんの製品がありました。また、人工水晶を青森、宮崎、アメリカのシアトルの3拠点で製造。原石から作れる強みを活用してさまざまなデバイスに使われています。懐かしい製品もたくさんあり、委員のみなさんから「懐かしい!」という声が多く聞かれました。見学させていただき、身近にエプソン様の製品がかなり多くあることに気づきました。ちなみに巷で人気のチームラボでもエプソンのプロジェクターが使用されています。



人工水晶 カットスライスして使用

### 【片倉館／松本城視察】

視察後は、諏訪の製糸紡績で財を成した片倉財閥が、創業50周年を記念して1928年に建て、会館、浴場、渡廊下の3棟が国指定の重要文化財である「片倉館」を見学しました。工場従業員への福利厚生にもなっており、深さ1.1mの千人風呂は、2014年4月に公開された映画「テルマエ・ロマエ2」の撮影場所の一つに採用され、有名です。

翌日には、現存する天守12城のうち五重六階天守としては日本最古の天守がある「国宝 松本城」を見学しました。天守の壁面の上部を白漆喰、下部を黒漆塗りの下見板で覆っており、この漆喰の白と漆塗りの黒の対比が絶妙な美しさを醸し出し、黒と白のコントラストが冠雪した北アルプスの山々に映えて見事な景観でした。



温泉施設を含む文化福祉施設の片倉館



装束をまとったおもてなし隊と委員

TOPICS

1

## 60周年記念事業がスタート!

総務委員長 兼 60周年記念事業実行委員長 柴崎 和彦(クリナップ)

2025年3月8日、キッチン・バス工業会は、創立60周年を迎えます。

60周年を迎えるにあたり、当工業会では2023年4月、60周年事業検討の準備委員会を総務委員会内に設置し、同年10月の第1回60周年記念事業実行委員会より本格検討を開始しています。

60周年を迎えられるのは、キッチン、洗面、お風呂を使用する多くの方々がいらっしゃることと、行政、業界関係者様、工

業会会員企業様の支援をいただき、工業会活動を継続できているからといえます。

これらを踏まえ、当委員会では、支えていただいていることに対する感謝の意を表すため、また、60周年をステップに次代を思考できる団体であることの認知を広げるための施策について議論を重ね、以下5つの事業を企画しました。

なお、60周年期間を2024年1月から2026年3月末とした上で、運営諮問会議、理事会、総会の承認を得て推進しています。

### 【5つの創立60周年記念事業】

#### ① 60周年記念ロゴ

60周年記念ロゴ作成し、既存工業会ロゴに付けて、ホームページ、封筒、工業会作成資料等で活用し、広く周知します。



#### ② 60周年記念誌制作

50周年から60周年にかけての工業会の軌跡の書物を製作します。A4サイズ 6章構成 48ページ程度。

序章	ご挨拶 キッチン・バス工業会 会長
1章	10年間の軌跡 世の中の動きと工業会 主な特別委員会活動 商品、部材の動き(キッチン、バス、洗面化粧台)
2章	川柳事業振り返り 実績報告・総括 20回の振り返り座談会
3章	これからの10年に向けて 工業会の取り組み 材工課題専門委員会 工業会に求めること
4章	出荷統計
5章	工業会概要

#### ③ 功労者表彰

・工業会活動に協力貢献のあった企業、団体、個人を表彰します。  
・表彰の種類は「10年会員表彰」「永年会員表彰」「特別表彰」です。

#### ④ 「11/2はキッチン・バスの日」新規普及促進事業

・「キッチン・バスの日」は11月2日を記念日として申請し、認定されました。なお、キッチンのK、バスのBはアルファベットで11番目と2番目です。同日の普及目的事業「台所・お風呂の川柳募集」は、今年度の20回で終了し、新規事業に引き継がれます。

・目的は将来、未来を見据え同日のさらなる普及促進です。  
・2025年度より、小学生以下を対象に「くらしの絵—キッチン・バス・洗面化粧台空間において—」(仮称)応募コンテストを実施します。  
・対象者の家族(親、兄弟、祖父祖母、伯父叔母、いとこ等)や友達との楽しく豊かな思い出として、記憶に残った出来事を絵日記で描くことで、同日を意識していただきます。  
(例えば、友達と食事、食卓の会話、自分が作った料理、掃除お手伝い、家族や友達と入浴、一人で入浴、歯みがき、身繕いなど)

#### ⑤ 記念講演

・2025年9月全員懇談会の講演を、60周年記念講演として実施します。(講演者、講演内容は検討中)

TOPICS 2

## 第20回「台所・お風呂の川柳」募集中 ——最終回となります——

川柳事業専門委員会 委員長 中山 世一(顧問)

今年も「台所・お風呂の川柳」の募集が5月27日から始まりましたが、今年で最終回となります。

毎年多くの人々からのご応募をいただいております。入賞者のご意見や反響を聞いても大変評判が良いようです。第1回の募集は平成17年11月2日から平成18年1月31日まで行われています。その時の応募句は5,066句でした。

それからおよそ20年、累計で100万句以上の句が応募されています。その間、川柳担当委員の交代もあり、賞の名前や賞品もだいぶ変わってきました。内閣府や経済産業省、国土交通省などの後援もあり、年々応募数や内容が充実してきました。協賛いただける団体も増え、下水道広報プラットホーム様の参加を得ての下水道展での募集なども一つの成果でありました。

この度は川柳事業も20回目を迎え、来年は工業会創立60周年を迎えます。これを機会にキッチン・バス工業会をさらに多くの人に理解していただく新規事業に切り替えることとなりました。

最終回となる第20回の川柳事業も総務委員会や広報専門委員会など他の委員会のご協力を得て、また理事会のご理解を得ながら盛大に進めたいと思います。

なお賞品については委員会でも議論を重ね、今回は石川県応援物産を一部取り入れることを検討しています。

コロナ禍もなんとか収まり、平常に近い状態となってきました

今後の工業会の発展につながるよう第20回の応募を開始いたします。

皆様方のますますの応援とご協力をお願い申し上げます。

### 11月2日はキッチン・バスの日

キッチン・バス工業会では、「文化の日」の前日にあたる11月2日を、台所・お風呂などの伝統ある生活文化をみんなで考える記念日として「キッチン・バスの日」を定めています。

---

**キッチン・バスの日記念  
第20回  
(最終回)「台所・お風呂の川柳」募集**

住生活月間協賛事業

今回で最終回とさせていただきますこととなりました。  
これまでたくさんのご応募ありがとうございました。  
日々の暮らしのなかにある「台所、お風呂、洗面」を題材にした、楽しい川柳をお待ちしています。

第19回キッチン・バス大会  
冷めぬうち  
そと追ひ焚く  
夫婦仲



- ★ キッチン・バス大賞 1名様 商品券5万円
- ★ 準キッチン・バス大賞 1名様 商品券3万円

※キッチン・バス大賞、準キッチン・バス大賞は表彰式への出席が受賞の条件となります。

- ★ 暮らしの安全・安心賞 1名様
- ★ 豊かな住生活賞 1名様 [一共通 石川県応援物産(予定)]
- ★ 環境・省エネ賞 1名様
- ★ 協賛団体賞 15名様 商品券1万円
- ★ 選者特別賞 3名様 商品券1万円
- ★ 優秀賞 25名様 日本のお風呂文化にこだわりつづけた三重県津市「おぼろタオル」バスタオル・フェイスタオル (made in Japan) のセット
- ★ 入賞 50名様 石川県応援物産(予定)
- ★ 学校奨励賞 ご応募いただいた学校には、表彰状をお贈りします。

応募期間: 2024年5月27日(月)~7月15日(月・祝日)  
 WEB応募 <https://www.kitchen-bath.jp/senryu/form.html> (スマホ対応)  
 FAX応募 03-3436-6454  
 郵送応募 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-9大門ビル3階  
 キッチン・バス工業会 川柳事務局 ※2024年7月15日締め切り



【主催】キッチン・バス工業会  
キッチン・バス工業会は、キッチン・バス・洗面化粧台の製造、販売、素材、原材料、エネルギー供給企業等及び団体を会員とし、安心・安全な住宅設備機器の提供により、国民生活の発展に貢献することを目的とします。

【協賛】(一財)ベターリビング/(一社)日本ガス協会/日本LPガス団体協議会/(一社)日本バルブ工業会/(一社)日本経理工業会/(一社)日本ガス石油機器工業会/ステンレス協会/(一社)日本建材・住宅設備産業協会/(一社)住宅リフォーム推進協議会/(一社)パナソニック産業協会/日本機械工業会/(一社)リシンテクノエニテ(協会)関西電力(株)、東京電力エナジーパートナー(株)/(一社)日本コミュニティガス協会/STOPI ヒートショックプロジェクト

【後援】経済産業省・国土交通省

第20回(最終回) 台所・お風呂の川柳 募集・応募チラシ



第19回 表彰式集合写真

## TOPICS

3

## 各委員会2024年度事業計画

## ◆ 総務委員会

- 工業会の地位・認知度向上の推進  
「キッチン・バスの日」式典、賀詞交歓会等の公式行事の推進  
60周年記念事業実行委員会と共に、施策の具現化推進
- 適切な委員会活動に適宜対応
- 傘下の専門委員会課題の推進
- 各種課題に対応するための体制、規程類の整備
- 会員拡大の施策検討と推進
- 関連行政機関・団体等との連携強化の推進
- 関連法令や行政施策の情報収集と共有化

\*傘下専門委員会事業計画

## ◇ 広報専門委員会

- 広報誌「K・B通信」の発行(年2回)
- 工業会行事等の応援、取材(「K・B通信」等で情報発信)
- ニュースリリースの発行

## ◇ 室内空気環境専門委員会

- 関連規制・環境リスク情報収集と対応
- シックハウス問題等に関する最新研究動向の把握(企業や学会等から収集)
- VOCガイドラインの管理・運用

## ◇ 仮設住宅対策専門委員会

- 応急仮設住宅仕様の流し台、洗面台、システムバスの供給  
可能能力・図面の精査、他

## ◇ 川柳事業専門委員会

- 第20回川柳事業の推進

## ◇ 材工課題専門委員会

- 建設業法に関する業界の情報共有
- 標準見積書ガイドライン<2024年度版>作成
- 工事区分ガイドライン見直し
- 建設廃棄物処理に関する情報共有
- 石綿障害予防規制の情報共有

## ◇ 営業企画専門委員会

- (一社)日本ガス協会など関連団体とのキッチン・バス拡販  
についての意見交換活動の推進

## ◇ 物流課題専門委員会

※2024年度より「物流課題専門委員会」として活動

- 特別委員会を専門委員会とし会員各社との情報交換、情報共有を推進
- (一社)日本建材・住宅設備産業協会での物流課題検討会議の方針決定を受けた追加の啓発チラシの検討および作成、2024年春にリリースを予定

## ◇ 60周年記念事業実行委員会

- 60周年記念ロゴ活用状況の確認、記念誌、功労者表彰、記念講演、新規事業案の推進

## ◆ 技術委員会

[キッチン・洗面技術専門委員会、浴室技術専門委員会共通事項]

- カーボン・ニュートラルに向けた環境対応の推進
- 商品技術動向及び変遷の調査
- 関連情報の収集
- 他の委員会との連携

## ◇ キッチン・洗面技術専門委員会

## ◇ キッチン・洗面規格・基準検討専門委員会

- 技術課題の検討
- 規格基準の調査と検討
- その他

## ◇ 浴室技術専門委員会

## ◇ 浴室規格・基準検討専門委員会

- 技術課題の検討
- 規格基準検討活動
- その他

◆ 調査統計委員会

- 自主出荷統計内容の充実
- 統計3専門委員会の充実(キッチン・洗面・浴室の各専門委員会)
- 調査統計要綱の見直し
- 60周年記念事業へ向けた準備

◆ PL関連委員会

- クレーム事例・事故事例の収集と対応策の検討
- マニュアル類の改定、見直し
- 他団体との成果物の管理
- 関連他団体、関連機器メーカー様との交流会

◆ 情報化推進委員会

- IT技術の調査・研究
- 工業会ホームページのアクセス状況の分析と報告
- 会員企業の情報処理実態調査の継続実施
- 工業会の業務効率化のためのITサポート推進  
(ペーパーレス化・BCP・HP セキュリティー対応)
- 会員企業の情報システム部門の交流促進

◆ 消費者関連委員会

- 消費者向け商品知識啓発の推進
- 当工業会の他の委員会、関連団体、関連業界との交流
- 消費者関連法令等の情報収集、共有

[特別委員会]

◆ 中企税関連特別委員会

- 中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画に係る証明書発行団体業務を引き続き実施。事業期間は2025年3月31日までの予定

◆ 行政支援事業特別委員会

※2024年2月度より「こどもエコすまい支援事業特別委員会」を改称

- 制度運用方法等運用課題の検討および国土交通省、経済産業省、制度事務局、関係団体との調整
- 制度の会員周知
- 「掃除しやすいレンジフード」「高断熱浴槽」の審査委員会参画、関係団体審査のサポート
- 関連する他制度の運用調整

◆ CFP策定特別委員会

※2024年度より新設

- 対象製品を浴室、キッチン、洗面化粧台とし、CFPガイドライン(経済産業省 2023年3月公表)を基にした勉強会の開催
- 他業界の策定ルールとも比較しながら、既存の枠組みを活用した具体的な策定ルール案の策定
- 各社での検証(対象製品の調査、配分、分析等)の実施と、これを基にしたシミュレーションと業界ルールの策定
- 2025年3月を目標に各製品別の業界ルールを策定し、HPへ公開

[製品安全推進会議]

◆ ジェット噴流バス啓発委員会

- 各社吸込口カバーの捕捉並びに無償交換、浴槽用温水循環器の使用中止処置の推進
- 年2回の自主点検進捗集計と共有

◆ 電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会

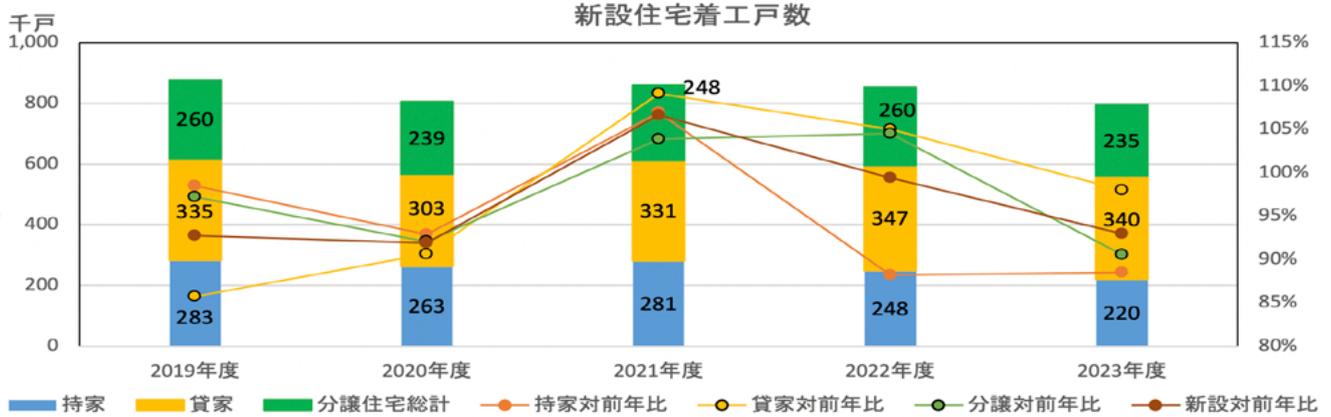
- 各社の市場点検の推進状況の把握と情報交換
- 事故情報の把握と市場リスクの情報共有
- 日本電機工業会と連携し、リスク対応を推進

統計情報

2023年度自主出荷統計概況

調査統計委員会 委員長 垣田 賢(LIXIL)

■新設住宅着工戸数

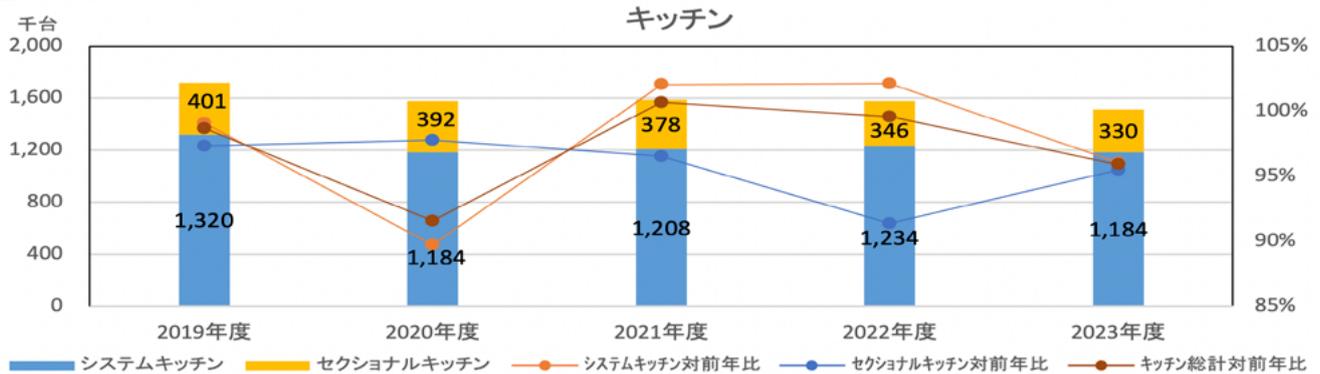


新設住宅着工戸数は、2019年度から90万戸を下回る水準で推移している。2020年度はコロナ禍の影響により持家、貸家、分譲とも大きく減少し、全体で81万戸まで減少。2021年度は持家、貸家、分譲ともに回復、2022年度も貸家、分譲は増加したものの、持家が1割超の落ち込み。

2021、2022年度ともに全体では86万戸台となり、2019年度をやや下回る水準まで回復。2023年度は貸家が小幅な減に留まったものの、持家、分譲は大幅減となり、全体では前年比7%減、80万戸と、リーマンショック後2009年度の77.5万戸以来、もっとも少ない戸数となった。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
新設住宅着工戸数(合計)	883,687	812,164	865,909	860,828	800,176
新設計対前年比	92.7%	91.9%	106.6%	99.4%	93.0%
持家対前年比	98.5%	92.9%	106.9%	88.2%	88.5%
貸家対前年比	85.8%	90.6%	109.2%	105.0%	98.0%
分譲対前年比	97.2%	92.1%	103.9%	104.5%	90.6%

■キッチン

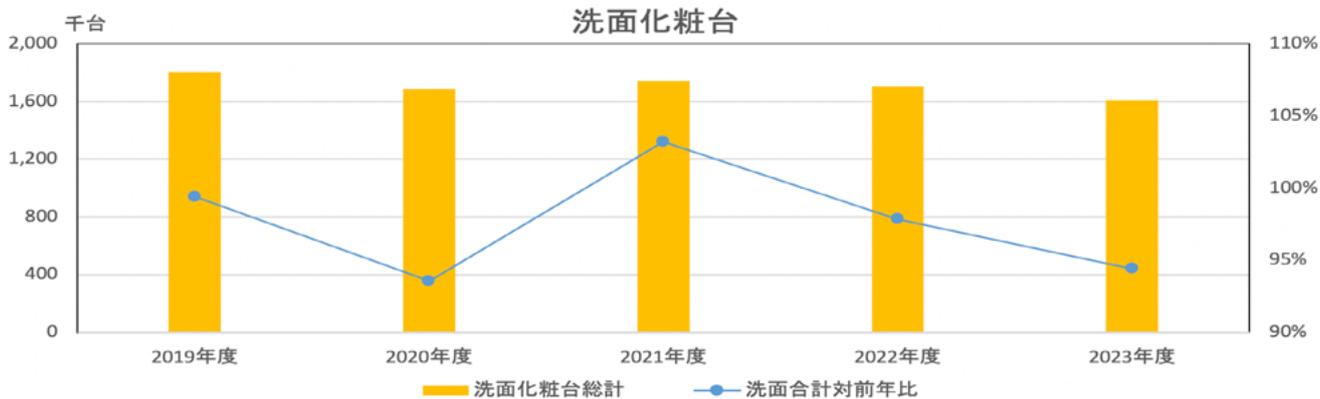


キッチン総数の推移は、2019年度は消費増税の影響は軽微で微減にとどまったが、2020年度はコロナ禍の影響から、システムキッチンが前年比1割の大幅減少、キッチン総計で160万台を下回った。2021年度、2022年度はシステムキッチンはわずかに回復傾向となり、キッチン総計では2021年

度は微増、2022年度は微減。2023年度はシステムキッチン、セクショナルキッチンいずれも前年比4%の減少、キッチン総計では前年比4%減、151.4万台と前年を下回った。キッチン総計の台数151万台は2019年度比で88%と、大幅な減少となっている。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
キッチン総計	1,720,450	1,575,615	1,586,240	1,579,240	1,514,414
キッチン総計対前年比	98.7%	91.6%	100.7%	99.6%	95.9%
システムキッチン対前年比	99.1%	89.7%	102.0%	102.1%	96.0%
セクショナルキッチン対前年比	97.3%	97.8%	96.5%	91.4%	95.5%

■洗面化粧台

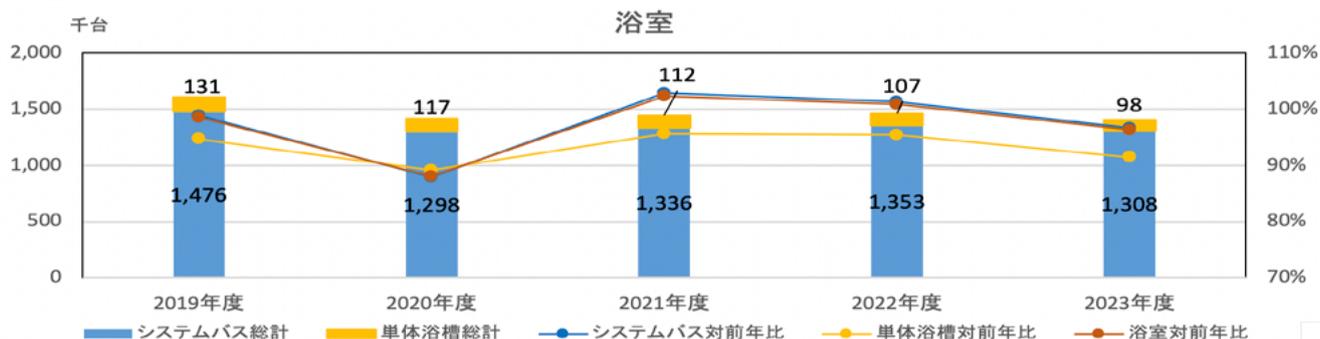


洗面化粧台は、2021年度は4年ぶりの増加となっていたが、2022年度は前年比2%減、2023年度は6%減と2年連続

の前年割れとなった。2023年度の出荷台数は161万台で、2019年度比では89%の水準となっている。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
洗面化粧台総計	1,804,275	1,688,250	1,742,194	1,704,851	1,609,743
洗面化粧台総計対前年比	99.4%	93.6%	103.2%	97.9%	94.4%

■浴室



システムバスと単体浴槽を合わせた浴室総計では、2020年度の2桁減少から2021年度、2022年度と小幅に回復したものの、2023年度は前年比4%の減少。出荷台数は141万台と2019年度比で87%の水準となっている。浴室総計の93%を占めるシステムバスは浴室総計と同様の推移となる

が、2020年度は2桁の減少、2021、2022年度は前年比増加となったものの、2023年度は前年比3%の減少となった。

一方、単体浴槽は減少傾向が顕著で、2012年度から12年連続の減少。2023年度も全ての材質で減少となり、全体では前年比8%と大きな前年割れとなった。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
浴室総計	1,607,748	1,414,994	1,447,542	1,460,192	1,406,101
浴室総計対前年比	98.5%	88.0%	102.3%	100.9%	96.3%
システムバス対前年比	98.9%	87.9%	102.9%	101.3%	96.7%
単体浴槽対前年比	94.7%	89.1%	95.7%	95.5%	91.5%

## 会員情報

## 浄水器ブランド「クリンスイ」誕生40周年

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社



三菱ケミカル・クリンスイの浄水器ブランド「クリンスイ」は、2024年に誕生40周年を迎えました。40年にわたり皆様にご支援を賜り、ご愛用いただけましたことを心より感謝申し上げます。

当社は、1984年に世界で初めて除菌までできる中空糸膜フィルターを採用した、家庭用浄水器「クリンスイ」を発

売しました。以降40年の間、飲み水を中心に、“水の安心”を実現するための技術や製品の開発に情熱を注いでまいりました。

これからも「コップ一杯の水をきれいに」を合言葉に、お客様にご提供できるお水の種類と利用シーンを広げ、また、家庭用だけにとどまらない事業領域の拡幅を図り、ご利用いただく皆様の生活を豊かにするためのお水をお届けすることを目指し、企業として日々歩み続けてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## — ご案内 —

K・B通信では、創業・設立を記念の年として迎えられる会員様をご紹介します。  
該当される会員様は、キッチン・バス工業会事務局までご連絡ください。

## 団体会員情報

## JGKAロゴマーク変更と新社屋完成について

一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

一般社団法人 日本ガス石油機器工業会（以下JGKA）は63年間掲げてまいりましたブランドマークのデザインを含めて法人名書体とスローガンを4月1日より一新しました。

また、4月22日より旧ガス石油機器会館跡地に新しく建設された「パークリクス神田多町」の2階に新事務所を移転しました。

新ブランドマークについては、【熱】【地球環境】【未来】をそれぞれオレンジ、グリーン、ブルーの3本のラインで表

現し、回転しながら円を描くような軌道は、すべてをつなぎながら未来の暮らしを考える、新たな時代に挑戦する想いを込めてデザインしました。

JGKAでは、カーボン・ニュートラルの実現に向けエネルギー消費量を大きく削減する省エネ機器の普及を進めるとともに、新たな時代に挑戦していきます。

また、新社屋については2階が工業会・PLセンター、3階（一部）・4階が会議室フロアとなります。



新ブランドマーク

一般社団法人  
日本ガス石油機器工業会

法人名（書体変更）

熱で、未来を変えてゆく。

スローガン



新社屋

## 行政情報

各種行政情報については、これまでも会員の皆様には総括責任者様を通じて、都度情報発信させていただいており、特に重要な内容に関しては、各委員会での活動内容とともに、

K・B通信でもご紹介しております。K・B通信では、過去半年の行政関連情報について、ご紹介しきれていない内容も含め、皆様に改めて整理してお知らせします。

トピックス



令和6年4月18日  
住宅局住宅生産課

### 令和6年度も長期優良住宅化リフォームを支援します！

既存住宅の性能向上や子育てしやすい環境等の整備に資する優良なリフォームを支援する「長期優良住宅化リフォーム推進事業」について、事業者登録の受付と事前採択タイプの提案の受付を開始しました。

#### 1) 対象事業

以下の①、②を満たす戸建住宅又は共同住宅のリフォーム工事

- ① インスペクションを実施し、維持保全計画・履歴を作成すること
- ② 工事後に耐震性と劣化対策、省エネルギー性が確保されていること

#### 2) 補助対象費用

- ・性能向上リフォーム工事に要する費用
- ・子育て世帯向け改修工事に要する費用
- ・インスペクション、維持保全計画・履歴作成に要する費用 等

#### 3) 補助率・補助限度額

- ・補助率：補助対象費用の1/3
- ・補助限度額：80万円/戸 等

#### 4) 受付期間

○通年申請タイプ

- ・事業者登録の受付期間：令和6年4月15日(月)～令和6年11月29日(金)

○事前採択タイプ「安心R住宅」「提案型」

- ・提案の受付期間：令和6年4月15日(月)～令和6年5月31日(金)

○交付申請の受付期間(予定)：令和6年5月中旬～令和6年12月23日(月)

※事業内容、事業者登録、応募方法等の詳細、交付申請等の手続きの詳細については、下記のホームページをご覧ください。

- 長期優良住宅化リフォーム推進事業 総合トップページ  
事業ホームページ：[http://www.kenken.go.jp/chouki\\_r/](http://www.kenken.go.jp/chouki_r/)



(問い合わせ先)

住宅局住宅生産課 電話：03-5253-8111

年月日	関係省庁など	内容関連リンク先	掲載対象期間:2023年12月1日~2024年5月31日
2024年 5月24日	国土交通省	<p>建築物の省エネ基準に関する2省合同会議を開催します。 「住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方(第三次答申)及び建築基準制度のあり方(第四次答申)」(令和4年2月1日)を踏まえ、住宅・建築物におけるカーボンニュートラルの実現に向けた対策強化を図るため2省合同会議※を開催し、中規模非住宅建築物の省エネ基準及び住宅トップランナー基準の見直しを検討します。 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001230.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001230.html</a></p>	
2024年 5月17日	国土交通省	<p>「省CO<sub>2</sub>先導プロジェクト2024」の提案募集を開始します! 省エネ・省CO<sub>2</sub>に係る先導的な技術を導入する住宅・建築物のリーディングプロジェクトを支援しております。 今年度の支援対象事業の選定に向け、本日より企画提案の募集を開始します。 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001229.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001229.html</a></p>	
2024年 5月17日	国土交通省	<p>「物流標準化促進事業費補助金(物流データの標準化促進に向けたオープンプラットフォーム構築支援事業)」の募集開始 「物流情報標準ガイドライン」を活用して、貨物の輸送を委託する者である複数の荷主企業や物流システム事業者等が連携して行う共同輸配送等を図るための「物流・商流情報のオープンプラットフォーム」の構築や運営を行う事業に要する経費の一部を補助する「物流標準化促進事業費補助金(物流データの標準化促進に向けたオープンプラットフォーム構築支援事業)」の募集を開始いたします。 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000784.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000784.html</a></p>	
2024年 5月16日	国土交通省	<p>建築物のライフサイクルカーボン算定ツール試行版を公開しました! 産官学の連携により設置したゼロカーボンビル(LCCO<sub>2</sub> ネットゼロ)推進会議における検討を踏まえ、建築物のライフサイクルカーボン算定ツールであるJ-CATの試行版が、本日公開されました。 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001226.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001226.html</a></p>	
2024年 4月24日	国土交通省	<p>「建築物の省エネ改修工事」の提案募集を開始します! ~令和6年度既存建築物省エネ化推進事業の提案募集~ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001225.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001225.html</a></p>	
2024年 4月18日	国土交通省	<p>令和6年度も長期優良住宅化リフォームを支援します! 既存住宅の性能向上や子育てしやすい環境等の整備に資する優良なリフォームを支援する「長期優良住宅化リフォーム推進事業」について、事業者登録の受付と事前採択タイプの提案の受付を開始 <a href="https://www.kenken.go.jp/chouki_r/">https://www.kenken.go.jp/chouki_r/</a></p>	
2024年 4月11日	国土交通省	<p>誰もが安心して暮らせるためのモデル的な取組を行う事業者を支援します! ~「令和6年度人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」の募集を開始~ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house07_hh_000280.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house07_hh_000280.html</a></p>	
2024年 3月28日	国土交通省	<p>断熱性の高い住宅でのオススメの住まい方、紹介します!断熱性の高い住宅でのより一層の省エネを促進するため、正しい住まい方のポイントを整理した『省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅を住みこなす住まい方ガイド ~高機能な住宅の性能を発揮させる25のポイント~』を公開します。 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001218.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001218.html</a></p>	
2024年 3月 8日	国土交通省	<p>「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」についてのWEB動画を配信します! ●対象者 主に住宅関連事業者向け ●主な内容 1. 我が国の住宅ストックの現状や住生活基本計画等について 2. 住宅取得に係る税制等の支援策について 3. 建築物省エネ法や省エネ住宅・建築物に対する支援措置等について 4. 長期優良住宅認定制度や住宅瑕疵担保履行制度による良質な住宅ストックの循環システムの構築について 5. 良質な木造住宅や中大規模木造建築物の支援措置等について <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001212.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001212.html</a></p>	
2024年 2月29日	環境省	<p>第3回「先進的窓リノベ2024事業活用セミナー」~賃貸集合住宅編~の開催について 賃貸集合住宅のオーナー等を対象に、先進的窓リノベ2024事業の活用方法、断熱改修による省エネ効果や健康面での効果、不動産価値向上などのメリット及び導入事例等を紹介するオンラインセミナーを開催。 <a href="https://www.env.go.jp/press/press_02801.html">https://www.env.go.jp/press/press_02801.html</a></p>	

年月日	関係省庁など	内容関連リンク先	掲載対象期間:2023年12月1日～2024年5月31日
2024年 2月20日	国土交通省	『待って!家選びの基準変わります マンション編』 ～省エネ住宅のメリットがわかるマンガを公開しました!～ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001211.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001211.html</a>	
2024年 2月13日	環境省	第2回「先進的窓リノベ2024事業活用セミナー」～分譲集合住宅編～の開催について <a href="https://www.env.go.jp/press/press_02740.html">https://www.env.go.jp/press/press_02740.html</a>	
2024年 2月13日	環境省	第1回「先進的窓リノベ2024事業活用セミナー」～賃貸集合住宅編～の開催について <a href="https://www.env.go.jp/press/press_02686.html">https://www.env.go.jp/press/press_02686.html</a>	
2024年 2月13日	国土交通省	優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰します ～「脱炭素都市づくり大賞」の受賞事業の決定と表彰式について～ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000124.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi03_hh_000124.html</a>	
2024年 2月 8日	国土交通省	建築物のバリアフリー化に向けた取組の方向性について議論します! ～高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に関するフォローアップ会議(第6回)の開催～ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000997.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000997.html</a>	
2023年12月19日	国土交通省	令和5年10月の宅配便の再配達率が約11.1%に減少 <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000736.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000736.html</a>	
2023年12月 8日	経済産業省	「2023年度グッドデザイン賞」の特別賞贈賞式が開催されました <a href="https://www.meti.go.jp/press/2023/12/20231208004/20231208004.html">https://www.meti.go.jp/press/2023/12/20231208004/20231208004.html</a>	
2023年12月 7日	環境省	住宅省エネ2024キャンペーンにおける先進的窓リノベ2024事業の詳細について公表します <a href="https://www.env.go.jp/press/press_02464.html">https://www.env.go.jp/press/press_02464.html</a>	
2023年12月 6日	国土交通省	建設リサイクル法等に係る全国一斉パトロールの実施結果～約5千現場の立入りで396件の指導等を実施～ <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo13_hh_000001_00204.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo13_hh_000001_00204.html</a>	

## VOICE

## 金型業者に、製品図(秘密情報)を提供し、 金型の製作を依頼する場合の秘密保持契約



弁護士 秋野 卓生  
(弁護士法人匠総合法律事務所)

メーカーが金型業者に製品図を提供する場合、秘密保持契約書に「秘密情報に基づき作成されたものは、すべてメーカーの秘密情報とする。」という条項を設けるケースが一般的です。

秘密保持契約を締結している場合、製品図を基に作成された金型は、条項上、「秘密情報に基づき作成されたもの」といえます。この際、秘密情報に基づいて作成された情報が「すべて」秘密情報に当たるとされているため、既に公知の情報であった場合や、秘密情報によらずに独自に開発した情報である等の例外事由に該当する場合を除き、秘密情報に該当します。

秘密保持契約においては、秘密情報を提示した時点で「公知」のものでさえなければ、一旦は秘密情報として保護の対象となり、被開示者の責めに帰すべき事情によらず、事後的に「公知」となった時点で、以降保護の対象から外れる事となります。

そのため、市場流通品の製造委託の場合、販売前の時点までは、秘密情報として保護されることとなります。

では、金型を用いて作成された部品が、利用者の目に触れる部位に使用されるに至った場合、その形状が公知となったとして、以降、製品図が秘密情報に該当しないこととなるか？という論点があります。

不正競争防止法上の営業秘密に関連して、いわゆるリバースエンジニアリングが可能な情報については、非公知性が認められず、保護の対象とならないと考えられています。このような考え方は、秘密保持契約における「公知」の解釈にも影響すると考えます。

### (1) 経済産業省「営業秘密管理指針」

「『公然と知られていない』状態とは、当該営業秘密が一般的に知られた状態になっていない状態、又は容易に知ることができない状態である。具体的には、当該情報が合理的な努力の範囲内で入手可能な刊行物に記載されていない、公開情報や一般に入手可能な製品等から容易に推測・分析されない等、保有者の管理下以外では一般的に入手できない状態である。」

「また、当該情報が実は外国の刊行物に過去に記載されていたような状況であっても、当該情報の管理地においてその事実が知られておらず、その取得に時間的・資金的に相当のコストを要する場合には、非公知性はなお認められる。もちろん、そのようなコストを投じて第三者が現に当該営業秘密を取得又は開発した上で当該情報の管理地において公開等を行い、『公然と知られている』状態となれば、非公知性は喪失することになる。」

### (2) 肯定例：東京地裁平成29年2月9日判決

(裁判所ウェブサイト)

原告が作成した革靴のオリジナル木型を、被告が複製・改造の上、第三者に開示したため、営業秘密該当性が争点となった事案です。

非公知性に関し、被告が、市販されている革靴にパテを流し込んで使用された木型を再現することは容易であると主張したところ、裁判所は、「靴の皮革は柔軟性を有するため、市場に出回っている革靴から、その靴の製造に用いた木型と全く同一の形状・寸法の木型を再現しその設計情報を取得することはできない」として、技術的に形状の再現が容易でないことを理由に、非公知性を認めています。

### (3) 否定例：知財高裁平成23年7月21日判決

(判タ1383号366頁)

原告が製造する雨戸部品について、営業秘密該当性が争点となった事案です。

裁判所は、「市場に流通している製品から容易に取得できる情報は…『公然と知られていないもの』ということができないところ…当該部品は…一般的な技術的手段を用いれば光通風雨戸の製品自体から再製することが容易なものであるから…『公然と知られていないもの』ということとはできない」として、市場流通品からの再現が容易であることを理由に、非公知性を否定しています。

### (4) 否定例：東京地裁平成23年8月19日判決

(裁判所ウェブサイト)

原告がイベント会場に設置していた、ロープと布を組み合わせて浮遊感を体験できる装置について、営業秘密該当性が争点となった事案です。

裁判所は「反訴原告装置が、平成21年7月から8月までの間、埼玉県川口市所在のイオンモールで、中に人が入ることのできる体験型装置として展示された(ところ)…原告装置に関する情報(①…装置の長さ及び高さ、②布の強度と伸縮性、③布の貼り具合、④二重化構造、⑤布及びロープの総重量)は、いずれも、その性質上、展示されている反訴原告製品の中に入り、又はこれに触れ、あるいは外部から観察した者が容易に認識し得る情報であるということが出来る。そうすると、反訴原告が営業秘密であると主張する前記情報は、反訴原告装置が前記のとおり展示されたことにより、非公知性を欠くに至ったものというべきである」として、外観・触感などから容易に認識し得る情報について、非公知性を否定しています。

#### (5) 検討

上記指針・裁判例を踏まえると、市場に流通している製品の形状等は、基本的には容易に認識・再現できる情報として、流通においた以降は非公知性を失うと考えられます(上記裁判例(3)・(4))。ただし、形状等の厳密な再現には相当の労力を

要し、かつ、当該製品においては形状が重要な意味を持つ場合には(上記裁判例(2))、なおも非公知性が認められる場合があります。この場合、問題となった情報の内容(重要性)と、市場流通品からの認識・再現の容易性が、重要な考慮要素となります。

部品(の金型)の形状については、利用者が目視で容易にこれを認識し、ある程度まで正確に再現することも可能だということとなれば、金型の形状という情報については、市場に流通した以降は非公知性を失い、「公知になった情報」として、秘密情報に当たらないとされる可能性があります。

一方、製品図に形状以外の記載があって、専門家による分解・解析等、相当の労力を費やさなければ、容易にこれを認識し、再現することが困難であるものについては、市場流通品であっても、なおも非公知性が認められる可能性があると考えます。

したがって、メーカーが金型業者と秘密保持契約を締結する際には、流通においた以降、非公知性を失うに至った場合にも秘密保持の対象となるような条項を設ける必要性が高いといえます。安直に秘密保持契約書のひな形を用いれば良いという訳ではないので、慎重なリーガルチェックをお勧めしたいと思います。

## 事務局

## 工業会業務日誌

常務理事 清水 洋一

昨年10月に工業会事務局に着任して、はや8か月。工業会の大きなイベント、賀詞交歓会、理事会、定時総会・・・と何とか乗り越えてきました。これもひとえに、あたたかくご協力いただいている会員の皆様のおかげです。

## 12月27日(水)

11月から12月と週末に続いた移動委員会も一段落し、気付けば今年も今日が仕事納め。ゆっくりと静かに怒涛の3か月を振り返ろう、と思ったが、午後から60周年記念事業実行委員会。1月の運営諮問会議に向けて60周年事業の構想を詰める。おそらく各社とも今日が年末最終日か。委員の皆さま、年末ぎりぎりまで本当にお疲れさまです。

## 1月6日(土)

ダウンコートもいらないような陽気のなか、工業会宛に頂いた招待状を握りしめ、東京ビッグサイト(の先の岸壁)で行われた東京消防庁の出初式を見学。幼少期以降、いまだに消防車に熱い興味を持つ私としては、国内最大級の車両パレードや、スペクタクルショーのような模擬訓練に目を奪われる。

## 1月12日(金)

明治記念館で賀詞交歓会。西尾会長より60周年記念のロゴマークをお披露目していただく。このロゴマークはプロの手によるものではなく、委員の手作り。そして、どうやって印象深くお披露目するかも委員の皆さんが知恵を絞った。私もロゴマーク入り名刺をできるだけ多くのお客様にお渡しすべく、汗だくで会場内をまわる。

## 2月6日(火)

大雪の予報だったので事務所は午前中お休みにした。が、予報ほどの雪は無し。それでも雪が降ったおかげか、普段よりきれいな空気を感じながら事務所に向かう。

## 3月26日(火)

今日は行政支援事業特別委員会の新旧委員長の引き継ぎの打ち合せ。年度末のため、交代する委員長の皆さんの引き継ぎが事務所で頻繁に行われている。旧委員長の皆様、各個社でも多くのお仕事を抱える中で委員長の業務を

こなしていただきどうもありがとうございました。そして、新しく委員長を引き受けていただいた皆様、よろしく願います。

## 4月3日(水)

当工業会に入会の意向を持っていただいているR社様を訪問し工業会の活動内容をご説明。会員企業様からのご紹介があって本日に至る。工業会に興味を持っていただく企業様にも、入会をお勧めいただく企業様にも、心よりお礼を申し上げます。入会して良かった、紹介して良かったと思われるよう、事務局も努力を続けます。

## 4月10日(水)

午後から広報専門委員会。今週から新年度の委員会活動が本格的に始まり、各委員会ともメンバーの交代で委員の皆様同士の名刺交換が頻繁に。私も名刺交換させていただきましたが、「清水さん、この前も名刺交換したよ」とおっしゃる方が何人も。失礼いたしました。

## 5月17日(金)

前回ご報告した、丸刈りになってしまった木(名称不明)は、週1回の水と窓越しの日光と絶え間ない愛情だけを注いで自由奔放に育てた結果、こんなに大きくなりました。

さて、これからどうしたらよいのか途方に暮れていたら、植物に詳しい、PL関連委員のYさんが今度ご指導してくれるそうです。ありがとうございます。



立派に育った(5月27日撮影)

以上、2回目の工業会業務日誌でした。もうちょっと中身のある文章は書けんのか!というお叱りがあるかもしれませんが、次回に向けて検討を重ねることにいたします。

これから蒸し暑い季節になりますので、体調にはお気を付けてお過ごしください。

## No.27 編集委員

発行責任者：佐藤 哲（トクラス）  
編集長：松本 賢治（TOTO）  
編集委員：石井 博之（渡辺製作所）  
井上 知春（ナスラック）  
遠藤 一之（クリナップ）  
大崎 和美（東京ガス）  
潮田 栄二（パナソニックハウジングソリューションズ）  
柴崎 和彦（クリナップ）  
鈴木 孝弘（タカラスタダード）  
高橋 絵里（三菱ケミカル・クリンスイ）  
中島 宏文（タカラスタダード）  
野村 泰之（LIXIL）  
御江 陽治（積水ホームテクノ）  
宮坂 浩（ノーリツ）  
吉田 修（TOTO）  
清水 洋一（事務局）  
田中 朋子（事務局）

とんぼ  
蜻蛉生る せせらぎの音 華やかに

朋子

## 編集後記

K・B通信をお読みいただき、ありがとうございます。今年も早いもので半分が経過。月日の進む早さは毎年感じますが、今年是一段とそのスピードを感じます。

唐突かつ私事で恐縮ですが、私は9月で（中途半端ですが）工業会活動を終えることとなります。初めて工業会活動に参加させていただいたのは今年の干支と同じ巳年でした。その年はアベノミクスだったり、2020年（だった）五輪の東京開催が決定したり、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」がヒットした年。ちなみに為替は1ドル100円前後でした。懐かしい…。それにしても、ずいぶん長くお世話になったものです。

工業会では、広報専門委員長や2年超のK・B通信編集長などの役割も担わせていただき、事務局はじめ他社の多くの方々と議論・交流するなど貴重な経験をさせていただきました。

この財産を大切に、微力ながら今後も業界に貢献できるよう、違った環境・立場でもう少しだけ尽力していこうと思います。時には甘えて頼りにさせていただくことがあるかもしれませんが、スルーしないでくださいね。

K・B通信は工業会活動を見える化し、関係者間の共通理解と活動の活性化、工業会認知向上の一助になることを期待し発行しています。引き続き忌憚のないご意見とご支援をお願いいたします。

少し早いですが、また編集後記の場をお借りして恐縮ですが、お世話になった工業会関係者の皆様へ深く、厚く御礼申し上げます。今後の発展を祈念して、ありがとうございました。

広報専門委員会 編集長 松本 賢治（TOTO）

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH  
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です！

キッチン・バス

検索

<https://www.kitchen-bath.jp/>

発行日：2024年7月1日

発行責任者：広報専門委員会 委員長 佐藤 哲

『K・B通信』に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。

Eメール：[kitchen.bath@nifty.com](mailto:kitchen.bath@nifty.com)